

紫野

平成26年
7月1日発行

第45号



大本山大徳寺



なりのお金がかかる、結婚しても自分達の自由になる時間が欲しい、子供に煩わしい時間を取られたくない、等々少し前までには考えられない事柄を挙げられています。

そしてそこには、国や都道府県の政策も大きく関わっていると思われれます。

都道府県によっては婚活支援や、保育所の増加、若者向けセミナーを行っている所があるにはあっても、国は、結婚・出産等は個人の価値観や人生観によるものであつて「公」がとやかく言うものではない、と及び腰の所があります。

この少子高齢化は日本の宗教界にとつても、座視する事が出来ない大変な問題を含んでいます。地方都市や村落から若者の大都会への流出が進み、そのための

人口減は、その地方の荒廃を進め、それはそのまま寺院の檀信徒の減少をもたらす、寺院の荒廃をもたらします。

日本全体の人口の減少は進みながら、大都会では人口の過密化が進む。移住者は故郷を忘れないにしても、次の世代の故郷は大都会であり、故郷はいつか忘れ去られてしまう。そして大都会の一部の寺院だけが信仰以外のイベントや事柄で生き残り、本来の信仰は薄れ、怪しげな新興宗教が世間を席卷する。

このまま社会が推移すれば、この事は将来起こりうる事実となるでしょう。

宗教人として、どの様な対策が有るのか、難しい問題が残されています。

◆◆◆ 平穏死が難しい現実を知る ◆◆◆

― 年老いて、病院とどう関わるべきか (三) ―

尊厳死協会 副理事長

長尾クリニック院長

長尾 和宏

終末期の脱水は友

― 自然な省エネモードを見守る勇氣 ―

現代人は「脱水＝悪」と刷り込まれすぎているように感じるのは私だけでしょいか。というわけで今日は脱水のお話です。たしかに今年の夏は節電の影響で脱水対策が以前にも増して重要でしょう。脱水は時に命

に関わるため適切な対応が必要です。但しあくまでこれは元気な人、これからまだまだ生きる人における話です。すでにがんや老衰で不治かつ末期の状態になりこれから平穏死に向かおうという場合、脱水は悪くないと思います。脱水状態では体全体が省エネモードになります。まず心臓に負担がかからず心不全になりません。ベッド上で

も呼吸が楽です。それに浮腫みが少ない。胸水や腹水に悩まされることがほとんどありません。よく「胸水や腹水を抜く」と言いますが、水分と一緒にアルブミンという貴重な蛋白、栄養素も抜いています。赤血球を除いた血液を抜いているようなものです。血液を沢山抜けば当然弱ります。抜いても抜いてもお水はすぐにまた貯まってきます。抜いた分だけ点滴することが多いようです。しかしそれでは何をしているのかサッパリ分かりません。

大きな病院から「週三回二リずつ腹水を抜かなければならない末期がんの患者さん」の在宅医療を依頼されました。訪問するとお腹はパンパン、ゼイゼイ呼吸で苦しうでした。胸水もありました。もちろん食事

心不全、呼吸不全、腸閉塞が改善され、また少しは食べられるようになりました。そう胸水・腹水は「ラクダのコブ」だったのです。「脱水は友ですよ」、「胸水、腹水、慌てて抜かなくても大丈夫！」などと毎日どこかのお家で言っています。

在宅現場では胃がんや大腸がんによる「がん性腹膜炎」でも患者さんは最期の日まで食べています。腸管の浮腫さえ取れば腸も少しは動くのです。ついでに言うなら脱水のみならず「貧血も友」です。がん細胞に供給される血液が減るとがんの進行も遅くなります。沢山のお水や栄養を人工的に入れれば、がんが急成長するだけでなく、胸水・腹水、腸閉塞、嘔吐、呼吸困難などの苦痛が増すだけです。在宅での最期がす

は食べられませんか。多くの医者は本能というか性というか、そこで必ず点滴補給をいたくなくなります。しかしそこをグッと我慢して利尿剤を使いながら様子を診ます。そもそも人間の生存には水分は必須。もし口から水が飲めないのなら、体内にある水を使うようになります。幸い胸やお腹の中には何れものお水が「貯水」されています。しばらくはその水を使って生きられます。食べない、飲まないのに尿は結構出ます。一週間たつと果たして胸水・腹水はかなり減り行動範囲が増えました。もはや胸水を抜く必要が無くなりました。患者さんもすっかり「水を抜く」ことを忘れていきます。脱水のおかげでお腹の中も消化管粘膜の浮腫みも取れました。全身の浮腫みも取れて、

べて平穏な理由はここです。もちろん、緩和医療をしっかりと行うことは言うまでもありません。

すでに省エネモードに入った臨終期の患者さんに多量の点滴をすることは、苦痛を増すだけで利益はありません。しかし脱水を黙ってただ見守ることは、現実には結構勇気が要ることかもしれません。平穏死の条件、四つ目は「脱水は友、胸水・腹水慌てて抜かない」です。

以下次号に続く